

科目責任者 川北 晃司 (倫理学研究室)

### ■ 教育目的

医療者に必要とされる人文・社会科学の素養・思考法を身につけるために、医療倫理・医療社会学・医療経済学・社会保障論などの諸領域を学習する。患者の権利、在宅ケア、地域医療、病院経営、病院薬剤師の役割、薬害、チーム医療、伝承医療、社会保障制度など、幅広いテーマを扱うことで、問題意識・思考力を涵養する。

### ■ 学習到達目標

1. 医療者に必要とされる人文・社会科学の素養・思考法を身につける (知識)
2. 現代医療における諸問題を把握する (知識)
3. 医療人としての問題意識を持ち、自ら考える力を伸ばす (知識、技能、態度)

### ■ 準備学習 (予習・復習)

予習：日頃から医療に関するニュースに関心を持ち、現代日本の医療界における問題を把握する

復習：各講師の指示による (指定 HP の参照など)

### ■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	地域医療	日本における地域医療の現状と課題 —薬剤師の立場から	A(2)-1-1~3 A(3)-1-2 A(3)-2-2~3 A(3)-5-1~2 B(1)-2-5 C18(3)-1-2 C18(3)-2-2
2	//	日本における地域医療 —医師の立場から	A(2)-1-1~3
3	医療倫理	プロフェッションとは 薬剤師倫理規定 利益相反マネージメント等	A(2)-1-1~3 A(2)-2-2
4	//	薬剤師と研究	A(2)-3-1~2
5	これからの病院薬剤師	今後の病院経営	C18(2)-3-1~3 C18(2)-3-5
6	//	病院薬剤師の役割	A(3)-4-1~3
7	薬害	薬害はなぜ起こったか？ —サリドマイド被害者の立場から	A(2)-4-1~2 A(2)-5-2 B(1)-4-3
8	//	薬害を防ぐために何をすべきか？ —妊娠時における薬物治療	A(2)-4-1~2 A(2)-5-2 B(1)-4-3 C15(3)-3-1~2
9	社会保障制度	日本における社会保障制度の現状と課題	C18(2)-1-1~3 C18(2)-1-4 C18(2)-2-4
10	//	歯科医療の現状と今後の課題 —社会保障制度改革に関する課題	C11(2)-2-2~3 C11(3)-2-4 C18(2)-3-1,4
11	伝承医療	伝承医療の歴史および今後の課題	A(1)-1-1 A(1)-2-1
12	//	伝承医療の実践	A(2)-1-1~2
13	医療過誤	医療過誤を防ぐために何をすべきか？ —遺族の立場から	A(2)-2-5 A(3)-4-1~2 C18(1)-1-1~2
14	//	医療過誤を防ぐために何をすべきか？ —医師の立場から	A(3)-4-1~3 C18(1)-1-1~2

## ■ 授業分担者

小松 楠緒子、外来講師、川北 晃司

## ■ 成績評価方法

期末試験の成績（60％）と授業への参加態度・課題レポートなど（40％）により総合評価する。

## ■ 教科書

『くすりと社会』小松 楠緒子 編著（北樹出版）2014年8月刊行予定

## ■ 参考書

Physician-Patient Collaboration, Naoko Komatsu (Sankeisha)

『薬学生のための医療社会学』小松 楠緒子 編著（北樹出版）